【基本構想】

将来都市像

力強く　心地よいまち

基本理念

- 頼もしさをつなぐ
- 豊かさをつなぐ
- 健やかさをつなぐ
- たくましさをつなぐ
- 柏崎らしさをつなぐ
- 共につくる 共にはぐくむ

分野別施策の基本方針

市民を挙げて
人口減少・少子高齢化の同時進行に対応

1. 子どもたちがまちへの誇りと愛着を持つ
2. 若い世代や女性から選ばれる
3. 高齢者がいきいきと暮らす

○防災・生活・環境　○産業・雇用
○健康・福祉　○教育・スポーツ
○魅力・文化　○自治経営

施策を展開

本市における最重要課題
人口減少・少子高齢化の同時進行への対応

1. **防災・生活・環境**
   ○地域防災力の充実・強化
   ○公共交通の確保・維持
   ○生活に身近な安全の確保
   など
2. **産業・雇用**
   ○安心して働くことができる雇用・就労環境の整備
   ○新たな産業の創出
   など
3. **健康・福祉**
   ○医療や介護の充実
   ○安心して出産、子育てができる環境の整備
   など
4. **教育・スポーツ**
   ○地域への誇りと愛着の醸成
   ○健康増進につながるスポーツの取組
   など
5. **魅力・文化**
   ○大学卒業生の地元定着に向けた取組
   ○文化継承のための人材の育成
   など
6. **自治経営**
   ○多様な主体の連携による地域力の向上
   ○健全財政の堅持
   など

土地利用
○都市的な機能やサービスの維持
○中山間地域における安定した日常生活の確保
など

【前期基本計画】

分野横断的に取り組むべきテーマ	重点戦略
健康づくり	健康・元気・いきいき戦略
産業の創出	産業イノベーション戦略
次代を担う人材の育成	地域の宝・育成戦略
魅力ある地域の形成	魅力あるまち形成戦略

達成度

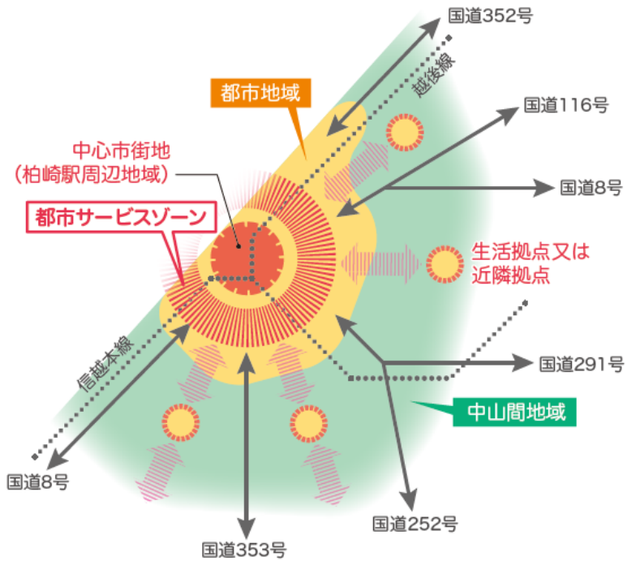
【健康・元気・いきいき戦略】「望ましい生活習慣の定着」と「子育て支援」は達成せず、課題が残る

【産業イノベーション戦略】人材縮小と自動車産業の大変革が進み、イノベーションは途上

【地域の宝・育成戦略】「若者や女性に対する雇用環境の充実」は達成せず、課題が残る

【魅力あるまち形成戦略】「着地型の誘客」と「若者の地元回帰と定住促進」は達成せず、課題が残る

都市サービスゾーンと中山間地域の連携



【後期基本計画】

【重点戦略案】

これらを踏まえて

アフターコロナ

- 【子育て環境の充実】
- 【産業イノベーションの推進】
  環境、エネルギー、情報デジタルを重点的に

市民アンケート

- 雇用対策、子育て支援、移住政策
- 公共交通機関の利便性
- 中心市街地活性化と観光産業の振興
- 医療と福祉の充実
- 病気予防（健康づくり）

時代背景の変化

【国際社会の目標】SDGs として社会・経済・環境の各項目からなる 17 のゴール

【社会】人口減少・高齢化の加速による様々な問題発生

【経済】経済のグローバル化から不安定化、デジタル化の進展、コロナ禍によるテレワーク地方移住

【環境】異常気象の頻発化

【土地利用等に関する記載】

【課題】8 地区の将来人口推計から
- 中山間地域において減少幅が高い
- 都市地域において都市経営を持続するため、都市機能と居住誘導が必要である
- 中山間地域において生活環境の維持が必要である

【方針】
当面は、生活環境の維持のため、各分野で施策を横断的に進めることが必要。一方で、将来の一層の減少を見込んだ対策が必要。

地区別の将来人口

- 減少率が高いのは、「上条・黒姫」「鯖石・高柳」「西部」で 30%以上
- 減少率が低いのは「旧柏崎」「郊外」